おはよ

障教組Ｘ展開中

高教組 HP
役立つ情報がいっぱい

兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）
神戸市中央区北長狭通５丁目２－１０
兵庫県高等学校教職員組合会館内
TEL　０７８－３４１－６７４５

全職員版 NO.２　　**2026.6.30**

～２０２６障教組拡大執行委員会開催！～

6月20日（土）高教組会館&オンラインで拡大執行委員会が開催されました。

執行委員会の前には学習会として、三木裕和先生の講演動画（障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会 in 千葉）「人間を大切にするしごと」を視聴したり、組合講座も行ったり、また各職場の現状をみんなで共有しました。

「人間を大切にするしごと－障害のある子どものココロを理解する」三木裕和先生

講演は、「重症心身障害児との出会い」と「自閉症を不安という視点で理解する」の2本立てでした。印象的であったところを紹介します。「重症心身障害児との出会い」では、『国連子どもの権利委員会では、言葉で意見を表明できる以前の子どもたちに対しても意見表明権を認める姿勢が明確に打ち出されている。大人が「自分たちの期待を修正し、忍耐と創造性を示す」ことで「話し言葉または書き言葉という通常の手段で意思疎通ができるようになるはるか以前」の子どもたちの「気持ち、考えおよび望み」を理解できるとしている。教育は率先してその精神にたつべき。』というところです。

「自閉症を不安という視点で理解する」では、『自閉症の人にとって、不安の対概念は「安心」ではなく「幸福」ではないか。親しい人との「ああ、楽しかった」という情動の共有体験。その質的、量的蓄積が不安を軽減するのではないか。生活の中で幸福経験が蓄積されること。それが不安感情に対抗できる力となります。』というところです。すべての子どもたちの「気持ち、考えおよび望み」を理解しようとすることが大切で、私たち教員も自分らしく、毎日の忙しさに流されずに、子どもたちと「楽しかったね」と言える時を意識したいと思いました。後にも先にも、子ども理解・人間理解に尽きるなぁと感じました。

第3回拡大執行委員会報告

先生が足りない！！

新聞やニュースでも取り上げられた教員不足。今年度も5月1日時点で県内の公立小・中、特別支援学校で常勤・非常勤計 209 人の教職員が不足しており、調査を始めて5年目でもずっと続いています。採用枠の拡大や60歳以上の職員の処遇改善などで人員確保する進めていくことが話題に出ました。

そもそも現場の教職員の配置自体が少ないのでは、と組合講座では「教員定数」について学習しました。

組合講座「教員定数」　講師　障教組 OB 佐和良一さん

最初に、校種別の児童生徒数と学校数の変遷（令和７年度学校基本統計速報より）をグラフで確認しました。

特別支援学校の児童生徒数・学校数ともに、小・中学校、高等学校に比べて圧倒的に少なく、これでは「特別支援学校の実情」に関心を持ってもらうことは難しいなぁと。

次は基本的な兵庫県の学級編制基準を解説のあと、調べてきた自校の学部学年別の認可学級数を元に、教職員定員配当方針に沿って認可学級に対して配置する教員数を計算し、ワークシートを完成させました。「うわー待って！追いつかない！」「もう一回教えてください！」などの言葉が飛び交っていました。

ワークシートの教員数のほか、教職員定員配当方針には書かれていない加配（進路指導対策教員、コーディネーターなど）や、年度末に学校から県教委に提出される実情によって加配されることも教えてもらいました。

最後の質問コーナーでは、「学科が 2 つ以上ある学校はどうすれば？」の質問や「知っている学級編制基準から変わっていた！」という感想や「教員数も大事だけど、特別支援学校特に専門学科が設置されている学校で、専門教科の教員の配置がないなどの問題も大きい。」という意見が出ました。この学習会をきっかけに、現状に合った学級編制基準や教職員定員配当方針を県や国に要望していくにはどうしたらよいか考えていかねければ！と感じました。

夏の学習　みんなでワイワイしよう会　参加者募集!!

参加は↓を読み取って申し込んでください。

８月１日（土）13:00～16:30　高教組会館

内容は以下のとおりです。授業の対象者は、小学部・中学部・高等部の重度さんです。後半の卓球バレーやアートバルーン制作は、高等部の軽度の生徒さんとともにぜひとも実践して楽しんで頂きたいです。

内容

① 絵本の読み聞かせ・授業にも使える絵本紹介（講師：宮崎さん）
② 音楽の授業（講師：飯塚さん）
③ 卓球 バレー（審判：飯塚さん）
④ アートバルーン制作（講師：佐和さん）

昨年の学習会の様子です。ぜひお子さんも一緒に。

絵本は心を豊かにし、生活へ生かしていく、そんなメッセージがいくつも盛り込まれています。対象児童徒に合った絵本を選び、メッセージ伝える、そんな仕法を学んでみませんか？私たちも心豊かな時間となることでしょう。音楽は、人の心を癒し、喜怒哀楽を培い、生活をよりよく豊かにしてくれるもの。授業ネタを学び、対象児童生徒に合う技術を知ってみませんか？私たちも楽しい時間となること間違いなし！

後半の卓球バレーやアートバルーン制作は、人生の豊かさと楽しさの象徴ともいえるもの。趣味や楽しみは、生きがいになります。先日、卓球バレーの大会で、特別支援学校卒業生とも出会い、選手として様々な年代の方と楽しんでいる様子が見らました。審判の資格を取られた教師もいますよ。ぜひ、学校で実践して、児童生徒の皆さん同士、教師との絆を深め、人生をより豊かにする体験をしてみませんか？みんなで楽しみましょう。

あなたもぜひ組合へ。組合だからできること、いっぱいあります！！
目の前の子どもたちのために、自分自身のために、仲間のために、よりよい教育条件、労働条件の整備を実現しよう！！